



みどりの風

平成24年3月1日発行

校報484号

[みどりの風27号]

練馬区立関町北小学校

やればわかる やればできる —来年度に向けて—

校長 大野 泰弘

表題の言葉は、ヤマト運輸の社長及び会長を24年余にわたって務められた小倉昌男氏の言葉です。小倉氏は著書「やればわかる」〔講談社刊〕の「おわりに」で次のように述べられています。

「私は、経営は論理だと思っている。だから、考える必要がある。考えて、考えて、考え抜く。でも、わからないことがある。その場合はやってみることである。やってみればわかる。やらなければわからない。これは私の信条である。」

学校では、ようやく来年度に向けての方向性が固まりました。この1年間の成果や課題を学校として振り返り、また、保護者や地域の皆様からのご意見やご要望も考慮しながら、「本校に通う子どもたちのためによりよい教育を」という一念から、また、1月号でお伝えした、「Continue」〔継続〕、「Connect」〔接続〕、「Create」〔創造〕の3つの視点も踏まえつつ、来年度の教育計画を立案してきました。

改訂された小学校学習指導要領が全面実施されて、1年が経ちます。将来を生きる子どもたちに必要な力を全教科領域の指導を通して育むために、学習指導要領改訂の趣旨を生かした授業を実践していくことは、今年度だけでなく、来年度以降もますます重要になります。その意味では、「継続」であり、また、「創造」でもあります。

そして、3月の過去の出来事の中で忘れてはいけない、3月10日の東京大空襲、翌11日の東日本大震災、この2日間を胸に刻み、子どもたちが家族はもとより、地域社会をはじめとする多くの人々との心の絆を深め、よりよい人間関係を築いていくことができる教育実践をすすめていきたいと思います。これは「接続」ということになるでしょうか。

小倉氏は、同書の中で「物事を見るのは人によってそんなに違いはない。問題は見てからそれをどう感じるか、どう行動するかの違いである。」ともおっしゃっています。

来年度の教育実践も「子ども一人一人のため」ということを前提にして、鳥瞰的・俯瞰的・大局的な視野で物事を考え、考え方抜き、まず「やってみる」ことで新しい価値や意義などを「わかる」ことができれば、子どもたちにも「生きて働く力」を育むことができると思います。まずやってみて、それでどうかを問い合わせながら、果敢に教育活動を展開していきたいと思います。

皆様には、この1年間たいへんお世話になりました。来年度も引き続き、ご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

※学校評価の集計結果や来年度の教育活動の方向性につきましては、6日に配付する資料にてご確認ください。

3月の行事予定

- 1日 (木) 6年生を送る会・安全指導日
2日 (金) 保護者会 1年 2:30~ 2年 2:50~
5日 (月) 全校朝会・5時間授業(5・6年)
保護者会(5・6年)
7日 (水) 児童集会
予告なしの避難訓練あり
8日 (木) 5時間授業(3・4年)
保護者会(3・4年)
9日 (金) お別れ給食会
12日 (月) 全校朝会
関中ウイント・アンサンブル演奏会
14日 (水) 児童集会
19日 (月) 大掃除
20日 (火) 春分の日
21日 (水) 給食終わり

- 22日 (木) 修了式
2時間授業 (1~4年)
卒業式リハーサル (5・6年)
23日 (金) 卒業式
26日 (月) 春季休業日始

<新年度始めの予定>
4月5日 (木) 新6年生前日準備
6日 (金) 始業式・入学式
集団登校始

<新年度保護者会>
4月11日 (水) 5, 6年
4月12日 (木) 3, 4年
4月16日 (月) 1, 2年

3月の生活目標 ありがとうの気持ちを表そう

素敵なところ

1年担任 石原 久美子

2年生に招待してもらった『こどもまつり』、2年生の工夫をこらしたお店に目をキラキラさせながら楽しそうに遊んでいました。景品を手にしてとても嬉しそうにしている姿がかわいらしかったです。

その一週間後、今度は1年生が保育園児を招待してお店を開きました。2年生が作ったお店を借りて、ボーリング・宝探し・ブラックボックス・動物タッチ・魚釣り・的当ての6つのお店を開きました。景品や看板を作ったり、リハーサルをしたり、当日に向けて準備を進めてきました。

当日、素敵だなと思う場面がたくさん見られました。まず、保育園児と手をつないでいる児童がお話をするときに、園児と目を合わせようとして腰をかがめている姿が素敵でした。話している時の優しそうな笑顔も素敵でした。6年生が1年生によくやってくれたことです。

次に、手提げがじやまで遊べない時に、ずっと手を出し、手提げを持ってあげる姿が素敵でした。2年生が1年生にしてくれたことです。

また、自分の役割ではなくても、お店がスムーズに流れるように自分で仕事を見つけて行動している姿が素敵でした。

全て、この1年間で1年生が6年生や2年生とのかかわりの中で学んだ行動です。よく見て、いいところをよく学んでいるなど感心しました。

今度はよい行動を伝えていく番です。2年生になってからの活躍がとても楽しみです。

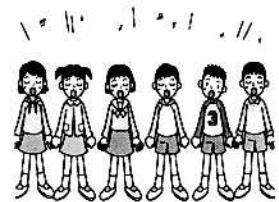
二分の一成人式に向けて

4年担任 岡部 久美子

4年生は、今年度で10才になります。10才といえば大人と子どもの中間地点、二分の一成人です。そこで、「今までの成長を振り返り、未来への新たな歩みをふみ出そう。そして、今までお世話になったおうちの人へ感謝の気持ちを伝えよう。」というめあてで、総合的な学習の時間に、二分の一成人式を行いました。

式では、歌や合奏、詩の朗読、呼びかけなどを通して、今までの思い出や、できるようになったことを発表します。今、子どもたちは本番に向けて、一生懸命練習しています。休み時間を利用して、音楽室で楽器の練習をしたり、グループで「もっと大きな声を出そうよ。」などとアドバイスし合いながら呼びかけの練習をしたり、クラスを越えて学年みんなで協力して、自主的に取り組んでいる姿には感心しています。3月8日の二分の一成人式には、一回り逞しく成長した4年生の姿を見ていただけると思います。楽しみにしていてください。

あと1か月で5年生になる子どもたち。高学年として活躍してくれる日もうすぐです。短い期間ですが、4年生の学習のまとめ、生活習慣の見直しをして、進級してほしいと思っています。



卒業を前にして

6年担任 福本 美千枝

卒業を目前にして6年生には様々な行事があります。クラス対抗お別れスポーツ、6年生を送る会など…。その中の一つに、交流給食があります。今年は、きょうだい学年で遊んだ1年生との「ありがとう給食」と、全クラスにお世話になる「お別れ給食」との2回の給食があります。その「ありがとう給食」の時に、とても素敵なかわいらしい光景を見ることができました。

1年生が書いてくれた招待状を6年生の教室に届けに来てくれた時のことです。1年生はきょうだい学年の同じグループの人を見つけて、一人ずつ机まで来て「いらっしゃい給食を食べてください。」などと言いながら招待状を手渡しました。いすに座っている6年生と立っている1年生の視線がほぼ同じ高さ、6年生は1年生の口元に耳を近づけてにこにこしながら聞き取っています。「ありがとう。」と受け取った6年生は、招待状を見ながら「上手に書けたね。」「きれいな字だね。」などとほめてあげています。その優しい言葉かけやほほえみを見ているとつくづく6年間の成長を感じました。担任だけしか見ることのできない、心温まるひとときでした。

自分のことだけで精いっぱいだった1年生が、関町北小学校で年月を過ごしてきて、人を思いやることのできる立派な6年生として卒業していきます。良い伝統を下の学年のために残していくことができて子どもたちは幸せです。胸を張って関町北小学校を卒業していくように、あと15日、心をこめて6年生と向き合っていきたいと思っています。